

だいちょう

令和7年5月1日

岐阜市立加納幼稚園

園長 藤井 佐由美

入園・進級して1か月ほどが過ぎました！！

4月は曇りや雨の日もありましたが、比較的過ごしやすい気温の日や、少し暑いと感じるような初夏の気候の日もあり、ほとんどの子どもたちは園庭に出て元気に遊んでいました。3歳児ちゅうりっぷ組やひまわり組の子どもたちにとっては、初めてののおうちの人とお別れに少し寂しそうにする子どももいましたが、多くの子どもは遊びたいという思いが先に立ち、泣かないで離れられる子どもも多くいらっしゃいました。数



日経ってから、「もうそろそろお家にいようかな…」と、まさか毎日この先3年間も通うとは思えない子どももいて、思い切り泣いて先生に抱っこされている姿を見ると、ちゃんと主張しているな…と安心した気持ちになりました。また、集団生活をするのが初めてという子どもがほとんどのため、自由でマイペースな姿（もっと遊びたくて部屋に入りたくない、帰りたくないなど）や、自分の思いをうまく伝

えられずに泣いたり、手が出てしまったりする姿などがあります。これまでは、家庭という守られた場所での生活から、集団生活という社会に出て、「何でも自分のもののはずなのに…」、「もっと遊びたいのに、なんでやめなくちゃいけないの?」、「先生、ずっと僕のことだけ見ていてよ。」、「もっと自由にさせてよ。」などという、子どもなりの「こんなはずじゃなかった。」場面での葛藤がいくつかあるのでしょうか。どれも3歳児の素直な

子どもの姿だと思います。一人一人の発達やペースが大きく異なる年齢でもあります。楽しい関わりも、ネガティブな関わりも、子どもにとっては両方必要な経験です。家庭では経験できない周りの子どもとの出会いの中で、一つ一つを大切な学びの機会としていきたいと考えております。自分の思いを表現できる子どもは、少しずつ自分とは異なった思いをもつ相手の存在に気付いて、関わり方を知ることが大切ですし、「困ったなあ。」、「いやだなあ…」と思うことを伝えるに困る子どもは、少しずつ大人に表現できるように、教師との信頼関係を基盤に力を付けていく必要があります。

教師が十分に対応できていない場面もあり、保護者の方にご心配をおかけすることもあると思います。どうぞ、お気軽に担任や主任、教頭、園長などにご相談ください。



今年も、ナミアゲハチョウが、ミカンの木に卵を産みに来てくれるようになりました。ミカンの葉を、昨年度の幼虫が食べつくしてツルツルになっていたのも、4月当初は親ナミアゲハチョウが卵を産みにくそうでした。しかし、4月の後半にほんの2日くらいで、新芽があつという間に大きく育ち、見事な葉をつけていました。植物の変化の速さに驚きです。すると、親ナミアゲハチョウはよく知っていて、何度も産卵に訪れるようになり、子どもたちの肉眼でもよくわかるように産卵の場面で生で見られるようになってきました。昨年度同様、たくさんの卵が産み付けられ、少しずつ1齢幼虫に育ってきています。



もう一つは、たんぽぽ組で、育てていたナミアゲハチョウのサナギが越冬し、とうとう羽化に成功しました。これは、秋に産卵し、孵化したら晩秋にサナギにまで成長し、蛹のまま越冬する春型と呼ばれるものです。反対に、春に産卵して夏ころまでに羽化するものは夏型と呼ばれます。春型のチョウと夏型のチョウは、大きさや見た目が異なります。春型は小型で明るい色、夏型は大型で黒っぽい色になると言

われています。その越冬した春型のナミアゲハチョウに何とか花の蜜をあげようと、3歳児と4歳児の子どもが夢中になっていました。翅が乾くまでは、あまり動かないためなかなか蜜を飲むまではいかないのですが、子ども心に「蜜が飲めてない。」「蜜を飲まないと死んじゃう。」と思うようで必死です。花に捕まるのもやっとなでフラフラしている様子を見て、余計「蜜を吸わないと元気が出ない…」と思うようでした。



こんなとき、子どもの心は大きく動いています。目線の先にあるものにくぎ付けなのです。せっかく花びらの上にのせてあげたチョウが、ヨタヨタしながら下に落ちてしまうと、それを3歳児の子どもが、指で翅をつまんで必死で助けようとします。すると、4歳児の子どもは、「さわっちゃダメだよ。翅は触ると死んでしまうんだ。」ととめます。3歳児の子どもにしてみれば、そっと優しく触ったつもりで

すが、4歳児の子どもは鱗粉が取れてしまうことを心配しています。傍で見て時を共にしている私には痛いほど、それぞれの思いが伝わりますが、言葉で十分に伝え合うわけではないため、3歳児の子どもにはその真意が伝わりきらず、「〇〇君がやりたい（チョウを捕まえて花の上にのせたい）」と泣き出してしまいました。3歳児の子どもの思いや4歳児の子どもの思いを代弁しつつ様子を見守ると、4歳児の子どもが、「そっと持つんだよ。」と自分の手にチョウをのせて、3歳児の子どもに差し出していました。こんな姿をみると『大きくなったなあ…』と頼もしさを感じました。





3歳児も4歳児も5歳児も、それぞれの場所を見つけて、自分で遊びにどっぷりつかると（ついでに感触にもどっぷりつかると）この時期を大切に過ごしたいと考えています。その中で、色水の色にこだわり、濃い色水ができたことを喜び、まじまじと見つ



けて満足そうにする子どもの姿を見ると、それまでの時間の経過が目に見え、ほっこりします。きっと、花の色や道具を選択し、時間をかけてこすり出すなど、試しながら作っていったんでしょうね。だから、大きなペットボトルにこの量なんだと思いました。

5歳児は、1週間程度をかけて「新入園児歓迎会」を実施しています。まだ、自分たちが遊びたいばかりで、「こども会議（子どもと教師で輪になって話合うタイム）」でも、十分に話し合いとまではいきませんが、自分なりに考えて「楽しいことをしてあげる」「優しくしてあげる」「ブランコを押してあげる」「泣いている子を助ける」などの案は出て、一緒に遊ぶことを実行していました。少しずつ、自分たちで考えたことが実現していく面白さを感じ取ってってくれるとよいと考えています。



《5月の保育目標》

【3歳児】

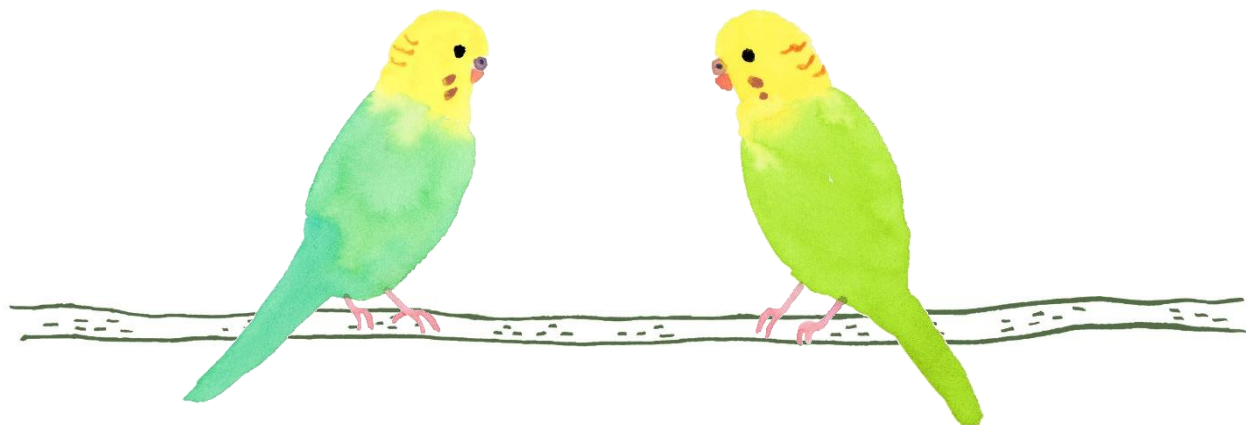
- 先生と一緒にいろいろな場所や遊びに興味関心をもつ。
- 幼稚園生活のリズムが少しずつ分かり、先生と一緒に身の回りのことをしようとする。

【4歳児】

- 先生や友達と一緒に生活する中で、自分の身の回りのことを自分で行う。
- いろいろな遊びに関心を持ち、友達や先生と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

【5歳児】

- 年長児としての自覚を持ち、自分たちの生活に楽しんで取り組む。
- 友達と誘い合って、戸外で思い切り体を動かすことを楽しむ。



お知らせ・お願い

毎週、通信を配信しております。お知らせやお願いなどがたくさんありますので、スマート連絡帳やホームページ等で確認していただきますようお願いします。

☆5月8日（木）「PTA総会」等について

9:20～10:20 PTA総会

10:20～10:50 園内保健安全委員会

10:50～11:20 夏服販売（4歳児、4・5歳児新入園児）※1Fホールにて
麦わら帽子販売（3歳児・4歳児）

*託児はありませんが、会場内に子どもが遊べるスペースを作ります。保護者の方の目の届くところで遊びながらご参加ください。

☆5月22日（木）「加納幼稚園 幼稚園説明会」について

10:00～11:00 加納幼稚園2階遊戯室にて開催します。

ご近所に未就園児（0, 1, 2歳児）のお子さんがいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください。もし、幼稚園説明会の案内等を近隣や民間施設（小児科やスーパー等）に配布していただける方は、職員室までお声かけください。

☆保護者の名札の着用について

登降園時や幼稚園に来園されるときは、保護者用の名札を必ず着けてください。送迎の方が代わる場合も、お配りした「保護者用の名札」を、記名してお使いください。

☆預かり保育（ちいさなおうち）について

預かり保育（ちいさなおうち）をご希望の方は、申込書と緊急連絡先をご提出ください。原則、前月の20日までに、教頭までご提出ください。

今後、利用者が増えたときには、就労などの方を優先させていただくことがあります。